

平成 28 年 3 月期 商学研究科 博士課程前期課程 修士論文(研究者コース)・課題研究論文(専門職コース)の提出について

平成 28 年 3 月期修士論文・課題研究論文の提出予定者は、以下の要領を熟読のうえ、手続きをすること。

1 修士論文計画書・課題研究論文計画書の提出

- (1) 提出期限 平成 27 年 10 月 14 日 (水) 16 時
- (2) 提出先 教務センター教務事務グループ (第 2 学舎 1 号館 1 階)
- (3) 注意事項
 - ア 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。
 - イ 修士論文計画書・課題研究論文計画書には指導教員の承認印を受けること。
 - ウ 既に提出した論文計画の変更は、これを認めない。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て変更届(教務センター備付)を提出することができる。なお、副題の新規設定・変更についても、変更届を提出すること。
 - エ 専門職コースで、本学商学研究科博士課程後期課程への進学を志望する者は、課題研究論文計画書の進学・資格欄の「本学商学研究科博士課程後期課程に進学を志望」を○で囲むこと。
 - オ 専門職コースで、税理士資格試験免除を受けることを希望する者は、課題研究論文計画書の進学・資格欄の「税理士資格試験の免除希望」を○で囲むこと。
 - カ 計画書を提出したが、修士論文・課題研究論文を提出しない場合は、事前に教務センターにその旨を報告すること。

2 修士論文・課題研究論文及び論文要旨の提出

- (1) 提出期限 平成 28 年 1 月 14 日 (木) 16 時
- (2) 提出先 教務センター教務事務グループ (第 2 学舎 1 号館 1 階)
- (3) 注意事項 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。
※他研究科と提出部数が異なるため、注意すること。

3 修士論文・課題研究論文及び論文要旨の提出要領

- (1) 提出部数 **【修士論文・課題研究論文 共通】**
正本 1 部・副本 4 部 (正本は自筆又はワープロ等により作成したもの。副本は正本の複写)
- (2) 枚数制限 **【修士論文】** 40,000 字以上。
【課題研究論文】 30,000 字以上。ただし、本学商学研究科博士課程後期課程への進学を志望する者又は税理士資格試験免除を受けることを希望する者は、40,000 字以上。
【論文要旨】 論文の概要を 1,000 字から 2,000 字程度にまとめる。
- (3) 用紙規格 以下の規格に従うこと。
 - ア 横書きのみとする。
 - イ 自筆の場合は A 4 判 400 字詰原稿用紙(市販のもの)を使用し、インキ書とする。
 - ウ ワープロソフトを使用する場合は A 4 判の用紙(感熱紙は不可)を使用。
(注) ワープロソフトの書式設定は原則的には以下のようにすること。

【横書き】 (A4 判) 35 字×30 行

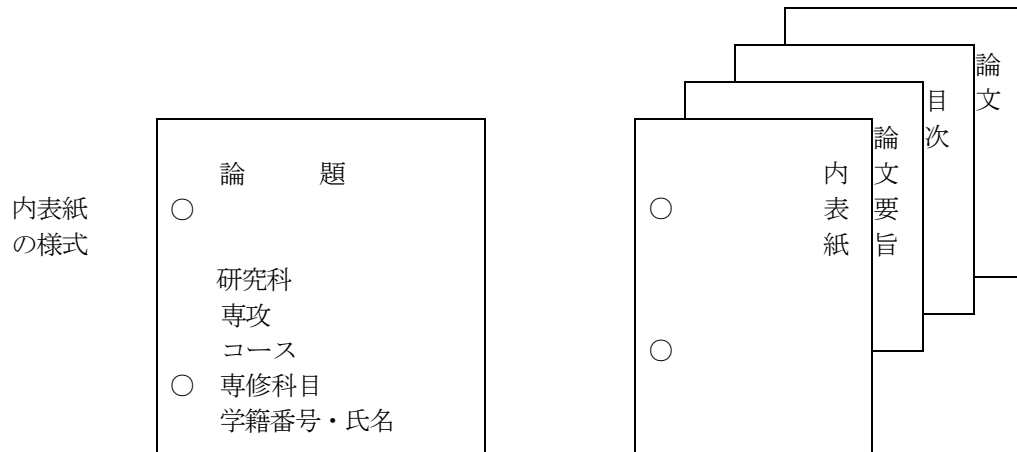
左側に余白を
25mm 以上とる

○ _____
○ _____
○ _____
○ _____

(裏面に続く)

(4) 装丁要領 (※以下ア～エは正本・副本とも共通)

- ア 市販のフラットファイル (例 A4判:コヨ 7-10) を用いて装丁すること。
 - イ フラットファイルの表紙及び背表紙に横書きで、研究科・専攻・コース・専修科目*・学籍番号・氏名を日本語で記入すること。
 - ウ 論題・研究科・専攻・コース・専修科目*・学籍番号・氏名を日本語で記入した内表紙を作成すること。
ただし、論題は論文計画書で届け出たものを正確に記入すること。
 - エ 内表紙、論文要旨、目次、論文の順に綴じること。
- * 専修科目とは、研究者コースの場合は指導教員の担当する演習科目名 (I 及びII) を指し、専門職コースの場合は指導教員の担当する講義科目名 (I 及びII) を指す。(例「市場問題研究 I・II」)



- (5) 注意事項
- ア 論文・論文要旨の文字色は原則として「黒」とすること。
 - イ 添付資料が多量にあつて別冊にする場合は、論文の装丁要領 (装丁要領ア・イ) に準じて作成し、表紙に「資料」と明記すること。
 - ウ 論文に綴じ込む資料が所定のサイズより大きい時は、サイズにあわせて折り込むこと。
 - エ 図、表、写真などは必要に応じ貼付すること。
 - オ 論文の作成にあたっては、「研究論文執筆要領 (関西大学大学院商学研究科)」を参照すること。

以 上